

第4回 市民と議会のつどい

会議録

日時 平成28年4月9日(土)午後2時開会
主催 宇治市議会
場所 宇治市議会棟 3階 第3委員会室
作成者 (広報委員) 山崎恭一 / 木本裕章

1. 開会挨拶

開会 真田 敦史 広報委員長(以下「司会」)

みなさん、こんにちは。本日は多数のみなさんにお集まりいただきましてほんとにありがとうございます。まずもって感謝申し上げます。ただいまより第4回市民と議会のつどいを開催させていただきます。私は、司会進行をさせていただきます市会議員の真田でございます。スムーズな進行にご協力のほどよろしく申し上げます。

また本日は、記録用に写真及びビデオ撮影を行いますのでご了承いただきますようお願いいたします。

まず、最初に宇治市議会議長石田正博がご挨拶を申し上げます。

2. 議長挨拶

石田 正博 議長

本日は、第4回市民と議会のつどいにご参加いただき、誠にありがとうございます。開催に際しまして、議会を代表し、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、平素より宇治市議会の活動に、格段のご高配、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、宇治市議会では、これまで、積極的に議会改革に取り組んでまいりました。平成23年3月には、その集大成ともいえる議会基本条例を制定したところです。この条例は、宇治市議会の基本理念、議員の責務及び活動原則等を定めて、市民の意向を的確に反映して、市民に開かれた信頼される宇治市議会を築き、全力をあげて市民福祉の向上及び市政の発展に寄与することを目的としています。

そして、この目的に沿い、議会活動の報告及び市民の皆様との意見交換の場として、この市民と議会のつどいを開催させていただいております。

議員が市民の皆様と直接意見交換をさせていただき取り組みであり、私ども議員といたしましても、大変貴重な機会だと思っています。

まず新年度予算について、予算特別委員会の委員長より審査内容についてご説明申し上げます。

続きまして、各党派議員及び無党派議員より説明させていただき、その後、みなさん方から質疑・応答の時間とさせていただきますので、ご遠慮なくご質問、ご意見をいただきたいと思います。

短い時間ではございますが、実り多いつどいとなりますことをご祈念いたしまして、開会のご挨拶とさせていただきます。

司会

ありがとうございます。続きまして、平成28年度当初予算の審査概要を、予算特別委員会委員長の坂下議員からお願いします。

3. 平成28年予算特別委員会の審査概要の説明

坂下 弘親 予算特別委員会委員長

みなさんこんにちは、予算特別委員長の坂下でございます。

平成28年予算特別委員会の審査概要につきまして、説明させていただきます。宇治市議会では、平成28年度の当初予算を審議するため16名の議員が予算特別委員として指名を受け予算委員会を設置し、3月10日から3月25日までの16日間かけて付託された議案を審査いたしました。

先ず予算とは、とありますので少し説明させていただきます。予算とは、4月1日から翌年の3月31日までの行政運営をするのに必要なお金の配分です。もちろん収入を想定し、どの様に配分し支出するかを考えなくてはいけません。宇治市においては収入の93.7%はもう決められた支出として予算組みせざるを得ない状況です。予算の編成や執行については市長の権限ですが、その予算を議会で議決しないと市長は予算を執行できません。予算が可決されないと市民生活に大変影響を及ぼしますので、よく市長と議会は車の両輪にたとえられます。議会は、市民の皆様からお預かりした税金を最大限有効に使われるようチェックすることが求められています。

予算の概要ですが、一般会計は、書いてありますように福祉や教育、消防、土木費等の住民に広く行われる事業の会計で624億8千万円と過去最大になっております。

また、特別会計は、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療事業、墓地公園事業の4つの特別会計と水道事業、公共下水道事業の2つの企業会計があり、全会計合わせて1191億4千万円となり過去最大の予算規模となっております。

次に、平成28年度の予算の特徴は、重点的な取り組みとして8つに分類されています。

1. 災害に強いまちづくりの推進として地域防災対策の確立として黄檗公園再整備事業として2億2600万円を計上しております。地球温暖化防止対策として街灯LED化事業として5965万円が、消防力の充実として消防機械器具整備として1億7785万円を計上しております。
2. 市民参画・協働の推進としてコミュニティの活性化、パートナーシップによるまちづくりとして市民と市長の対話ミーティングや、ちはや姫広報活動費等が挙げられます。
3. 誰もが生き生きと暮らせるまちづくりには、包括的な相談・支援体制、高齢者福祉サー

ビスとして複合型介護予防教室が歳費として6971万円、総合的な障害者支援については障害者移動支援事業として8011万円。

4. 総合的な子育て支援として放課後児童健全育成事業として1836万円を新規事業として取り組み、また生活習慣改善モデル事業等新規に取り組んでいます。
5. 未来の宇治市のまちの発展と人口減少社会を見据えた都市基盤整備については、JR新田駅前広場整備として8697万円、またウトロ地区住環境の整備として4億6062万円が計上されています。また宇治川太閤堤跡歴史公園事業として25億6000万円が債務負担行為設定として計上されていましたが、今回議会から修正案がだされ予算から外されました。今回の予算委員会のなかで一番の争点となった予算です。私が議員になって18年間で、この件だけで集中審議されたのは初めてのことだと思います。
6. 公共施設のあり方の検討と再構築については、厳しい財政状況や人口減少・少子高齢化の進展を踏まえ、時代に即した公共施設の効果的、効率的な活用のため、固定資産台帳の整備とあわせ公共施設の更新、統廃合、長寿命化等の計画策定に取り組む。
7. 行政改革の促進。
8. 持続的に発展するまちを目指す地方創生の推進のためとして、5つの基本目標にそって、宇治ブランドの確立、宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生、まちの魅力を高める都市基盤の整備、地域経済の活力、若い世代の就労、結婚、出産、子育ての希望をかなえる環境づくりへの施策の遂行のための予算を計上されています。

一般会計予算の内訳ですが、皆様方からいただく市税の234億円の内訳は、個人市民税、法人市民税、固定資産税、たばこ税、都市計画税等の合計です。収入全体の38%です。使いみちが決められている、例えば生活保護、児童手当、ウトロ地区住環境改善事業、道路や学校施設整備等に使われる国庫支出金119億や府支出金46億となっています。国庫支出金は、国や府からの地方公共団体に用途を指定して交付されます。国からの地方交付税は、国税として交付された所得税、法人税、酒税、消費税等一定の割合の額を地方公共団体が等しく住民サービスを遂行できるよう一定の基準により交付されるものです。69億円となっています。市債は、45億7000万円。あわせて624億8000万円となります。

次に歳出ですが、費目別に分けていまして、民生費ですが279億円と毎年増加しております。住民が一定水準の生活と安定した社会生活を保障するのに必要な経費です。例えば子どもや高齢者、障害者の方の福祉や生活保護費等です。

総務費58億、道路や河川、橋梁等土木費は72億円、衛生費は43億7000万円で保険衛生費や清掃費の支出です。教育費53億、公債費58億、消防費21億です。

次に支出の性質別につきましては、扶助費ですが社会保障関係費、いわゆる老人福祉費、児童福祉費、障害者福祉費、生活保護費等になっております。補助費は、後期高齢者医療事業給付負担金、民間保育園運営補助金、城南衛生管理組合分担金等です。繰出金とは、一般会計から特別会計に支出される経費です。例えば国民健康保険や介護保険、公共下水道への費用です。物件費は、公共施設への維持管理費や委託費、普通建設事業費は、インフラ整備等です。

次は、今説明しました金額では大きすぎてよくわからないので、これを一万分の一にして一般家庭に置き換えた場合の表です。

最後に、予算委員会の審議ですが、市長提案 1 議案と議会提案 2 議案の計 3 議案を審査いたしました。そのうち議案第 1 号につきましては、宇治川太閤堤跡歴史公園につきまして修正案が出されまして、修正可決されました。ということは太閤堤につきましては、今回は予算として認定されなかったわけです。今後どのような形で取り組むのか宿題となったような状況であります。大変厳しい審査ではありましたが、この修正案は昨年 9 月に続いて 2 度目の修正可決となったところです。

審査は、総務部、健康長寿部、福祉こども部、市民環境部、建設部、都市整備部、教育部等部局別ごとの審査や、実地調査、総括質疑などを行いました。結局 1 議案の内、議案 1 号は修正可決され、あとはすべて可決されました。そして議会議案は、1 号 2 号が否決されたものです。宇治川太閤堤跡歴史公園整備運営事業についてはご存じのとおり大きな話題となっておりますが、今後どうするのか、当局にとっても、私たち議会にとっても大きな宿題となっていると私は思っております。

以上で予算特別委員会の概略の説明とさせていただきます。

司会

次に、予算審査の宇治市議会各会派、無会派の議員からそれぞれ説明をお願いします。説明につきましては、各会派 6 分間とします。そして、無会派につきましては 3 分間とさせていただきます。そして、終了 1 分前には、こういう風に鳴らします。6 分経過しますと、と鳴らしますので、時間通りによろしくをお願いします。

それでは、最初に共産党議員団からよろしくをお願いします。

4 . 各会派・無会派議員からの説明（会派 6 分 / 無会派 3 分）

日本共産党宇治市会議員団（以下「共産党議員団」） 水谷 修 議員

みなさんこんにちは。落丁脱字がたくさんありまして申し訳ありません。

太閤堤跡歴史公園の内、PFI 事業、25 億 6 千万円ですが、これは 19 年間の今後の財政支出を予算として組もうとするものですが、それを全額削除しました。同事業は、市長の公約目玉事業です。総額は 100 億円程度を使おうとしています。子育てや暮らしを守る対策など、急ぐべき課題が山積しているもとの、税金の使い方が間違っています。堤防跡で、宇治に来られる観光客が増えるかは不明であり、財政効果にも疑問があります。

PFI 事業とは、設計・建設・運営を一括して大企業に委ねるもので、全国で見込みがはずれて事業破綻する例があるなど、大問題のやり方です。また、観光施設と公民館などを合築する複合施設では、教育施設である公民館はうまく運営できません。さらに、事業費が事業を受託する事業者の都合でさらに増額する可能性があることも宇治市が認めました。予算委員会では、この予算の削除を提案し、自民・公明のみなさんも賛成し、予算が削除されました。今後は、史跡保存などにとどめ、規模を縮小するべきです。複合施設をやめて、公民館・市民会館を存続し建替

えるべきです。また、PFI事業手法をやめて、地元業者に仕事をまわすという抜本の見直しが必要だと思います。

若者の市外流出が進んでいます。2015年の転出超過が、1083人で、転出超過自治体ランキングで全国ワースト14位になりました。市長就任後、わずか数年で全国実質最下位に転落してしまったのであります。

学校施設をいろいろ調べにいきましたら、(資料の)左側は小便器はおしっこが流れているではありません。まっ茶色の水が学校では水道管から出てきます。学校施設基準を満たしていません。(資料の)右のトイレは水漏れが放置されています。雨漏り校舎、臭い汚いトイレを放置している自治体は、異例であります。市長の責任が問われていると思います。

そういう中で、学校施設改善を求める請願書が出されましたが、全会一致で採択されました。

保育所の待機児が社会問題になっていますが、2年前の4月が81人、去年が109人と35%も増えました。ことしはさらに増える見込みで、これは保育所を新設してこなかったからであります。

宇治市以南の自治体は、中学校卒業まで医療費を無料にしています。宇治も中学校卒業まで無料にすべきです。

特別養護老人ホームの待機者は、2014年は269人であったものが、2015年は315人で2割増えました。「保険あって介護なし」、これを改善すべきだと思います。

急速に宇治市の経済が、沈滞しています。そういう中で暮らしを守ることが大切です。

国民健康保険料を見ても、世帯割保険料で見ますと2万7400円で府内15市で最高額。ですから、たとえば国民年金の単身者の方の場合は、宇治市の保険料は府内15市で断トツに高い一番です。7年連続黒字、約10億円の貯金があり、さらに山本市長になってから一般会計からの法定外繰入金は、1円も出していません。府内でも異質な存在になっています。こういったお金を活用すれば国民健康保険料の引き下げはできます。

水道料金が4月から14%値上げになりましたが、これは平均の話で、低所得者用の水道料金は35%もの値上げです。値上げの財政シミュレーションは、昨年12月にきめましたが、3月ですでに狂っています。値上げは撤回すべきです。

大阪維新の秋月議員の政務活動費を調査する調査委員会を私どもは提案し、全会一致で可決されました。またアスベスト被害の意見書も全会一致で採決されました。

司会

次に、民主党議員団、よろしく申し上げます。

民主党宇治市会議員団（以下「民主党議員団」） 服部 正 議員

みなさんこんにちは。私ども民主党宇治市会議員団では、平成28年予算特別委員会の予算審議にあたりまして、主に3つのポイントを中心に進めてまいりました。

一つは、集中審議になりました(仮称)太閤堤跡歴史公園整備運営事業についてです。

この事業におかれましては、平成19年度宅地開発の途中でこの史跡は発見され、歴史・文化や景観を守り育て、未来へ継承しようと「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」をつくら

れ、国の支援をいただくために「歴史的風致維持向上計画」を策定されました。平成24年3月各大臣の認可を受け、国庫補助を受けながら、その中の一部として進められている事業で、今回その建設・運営等を民間に委託しようというPFI事業を採用する事に審議をしていたものです。

二つ目は、地方創生です。

宇治市も人口減少が進んでいる中、国の交付金を生かし、地域経済の発展・人口減少に歯止めをかけるため、平成27年11月に「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されました。これは歴史・文化資源、宇治茶のブランド力を活かした交流人口の活用により地域活性をめざし、宇治市民としての愛着を感じていただくことにより、人口の転入増加、転出抑制につなげ、若い世代が子どもを産み育てたいと思える環境作りをしていく、そして将来の地域の担い手確保につなげる狙いがあり、この総合戦略をもとに地方創生を行うものです。

三つ目は、定住対策、魅力発信についてです。

その人口減少が進み、どの市町でも人口を呼び込もうと、また人口の定住促進に力を入れられ、都市間競争はますます厳しくなることが予想されます。宇治市でも定住対策、人口流入のために魅力をどう発信していくかは大きなテーマになっています。

私どもは、今宇治市にとってのこの三つが最も大きなテーマではないかと考え予算審議に取り組みました

それでは、まず一つ目の、(仮称)太閤堤跡歴史公園整備事業についてです。この間の市政だよりで概要が出ていましたが、私どもはこれを進めるべき、賛成の立場をとり続けてきました。その理由としましては2020年に東京オリンピック開催が迫る中、国を挙げて観光施策に積極的に取り組もうとしている時期であり、さらに「日本茶800年の歴史散歩」日本遺産認定、京都府と連携した「宇治茶の世界文化遺産登録」、「お茶の京都」など山城地域の魅力活性化にとっても、追い風となっている今がまさに絶好の機会であるという考えからです。

宇治市の魅力である宇治茶、歴史・文化の情報発信の拠点として位置付けられるこの事業が着手できないとなれば、絶好の機会を逃すだけでなく、これまで多くの方々のご協力を得て、進めてこられたことへの期待感や国などの関係機関との信頼関係や関係性が損なわれる。また、予定していた国庫補助の導入ができなくなれば、将来的な財源の確保に非常に懸念が大きいと考えたからです。

今回、残念ながら修正案が可決され、このまま進めるべきではないという案が可決されたわけですが、今後の方向性はまだ白紙の状況です。

二つ目の地方創生につきましては、宇治茶のブランド化を推進し観光の振興を促進させ、市民の誇りの醸成、それとあわせ、子どもたちに宇治の魅力を伝えていく「宇治学」を推進することにより、宇治への愛着を促し定住促進すること。また、外国の方への観光対策とともに、市の魅力を高めるための観光サインの整備や文化財保護に努めていただき交流人口の推進につなげていただくよう求めました。

そして地域経済の活性化、安定雇用の対策として、ベンチャー企業育成支援策や企業誘致を検討していただき、また新規就農者の確保を促進していただくことを求めました。そして地域経済の活性化につきましては進められておられます産業連関表において、何が課題でどういう対策が有効なのか、しっかりと分析し対策を立てられるよう求めました。

三つ目の定住対策・魅力発信につきましては、住みたいまちとさせていただけるような魅力ある環境づくりとともに、その魅力をいかに発信していくかが重要だと考えます。宇治市はどのように魅力を発信していくのかを定めるための行動指針として、平成27年3月「宇治市魅力発信行動指針」を策定されました。その中では、お茶と観光の魅力発信は数多くありますが、定住対策につながる発信については弱いのではと考え、定住対策の更なる魅力発信に取り組んでいただくよう求めました。

また、若者の定住対策につなげるためには教育と子育て環境の充実が必要だと考えます。そこで教育と福祉の連携を図る、総合的な窓口の開設などを提言いたしました。

現在人口減少が進む中、市税収入が落ち、社会保障関連経費である扶助費や公債費などの義務的経費の増大が見込まれる非常に厳しい財政状況ではありますが、第5次総合計画・将来戦略プランを踏まえた上で、人口の変化による様々な将来への影響・課題を勘案しつつ、人口減少に歯止めをかけ、まちづくりの目線であります「お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治」を目指し取り組んでいただけるよう、また未来の子どもたちへ安易に課題を先送りせず、過度な財政負担を残さないよう、今後も持続可能な財政運営に務められますよう、今後も意見具申していきたいと思っております。

司会

次に、自民党議員団、よろしく申し上げます。

自民党宇治市会議員団（以下「自民党議員団」） 荻原 豊久 議員

まず、平成28年度予算について申し上げる前に、自民党宇治市会議員団の宇治市の予算についてのスタンスについて、平成28年度1月12日市長あてに予算要望させて頂いた中身を少し紹介したいと思います。

今回、特に重点要望として、聖域なき行政改革を行うと共に、歳入の確保に努めながら、「選択と集中」の観点に基づき、各事業の推進の必要性。その中で、特に市民の痛みを伴うものについては、丁寧な説明責任と負担の公平性の観点、真面目に働く人達が報われる社会の実現に向けた姿勢を第一に、子育てや教育、観光振興、誰もが活躍できる社会の実現など、7つの項目をあげました。中でも、教育については、経済的な格差から教育格差が生じないように十分な支援をすることはもちろん大切ですが、公的な支援を社会全体に還元する使命感や倫理観を育て、また正義や秩序を重んじた人材を育成するシステムの構築を宇治市においても、家庭や教育機関、地域が一体となって取り組む体制づくりについても、言及し、予算案について、精査しました。

自民党会派としては、これまでも行財政改革については指摘をしていることから、本予算の中でもそのような観点から市独自の基準で支払われている市職員の住宅手当、通勤手当並びに、近隣市町と取り扱いが異なる出張旅費について質疑しました。

具体的には、住宅手当と通勤手当を国の基準にした場合の影響額は月額約260万円となり、年間で換算すると約3120万円にもなります。また、出張旅費についても近隣市町よりも手厚い部分もあり、財政が硬直している中で、様々な視点からの行財政改革の必要性を指摘しました。

また、平成 28 年度の市の歳入のうち、私たちが支払う市税は、その 4 割を下回る 2 3 4 億円という状況であり、一方で、支払われるべき税金の滞納があります。例えば、個人市民税の滞納額は約 4 億 6 0 0 0 万円以上、固定資産税と都市計画税を合わせた滞納額は約 4 億 7 0 0 0 万円以上になり、合わせると 9 億円以上もの金額になることから、これらについての収納の徹底を指摘したところです。

そして、宇治市の人口も毎月の減少が止まらない中で、今後の大きな課題としては、これまである公共施設の利用状況も変化していく中で全体を把握し、長期的視点をもって、更新、統廃合、長寿命化等の計画を行うことにより財政負担の軽減・平準化そして公共施設等の最適な配置を実現することが必要です。その中で、本年度の予算としては、入園数の減少する公立幼稚園の検討委員会の予算が計上されたことは評価すべきところです。

加えて本年度の予算計上の中で、新卒向けの企業合同説明会を実施されることとなり、中小企業支援としても、人材確保は喫緊の課題であることから市としても十分に取り組んでいく必要があると思いますし、定住人口を増やすためにも雇用の創出は必要不可欠でありますので、そのための一環として評価ができるものだと判断したものです。

今回大きな話題となっております、(仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園整備事業について、わが会派の意見を申し上げます。

平成 1 9 年の遺跡発掘当初は、そしてその後の議会でも、多額な費用をかけずに史跡を保存することについて異論はありませんでしたし、予算委員会で現地調査した史跡ゾーン整備について反対するものではありません。

しかし、本市においては、計画当初からこの間、平成 2 4 年度の南部豪雨災害や平成 2 5 年の台風被害と 2 年連続の災害は、財政だけでなく、市民生活に多大な影響をもたらしました。刻々と日々変化する時代にあって、その時々判断はやはり重要であろうと思っています。

こうした経過の中、昨年に引き続き、当局からご提案頂いた事業計画は想定する以上に大規模なものとなり、国庫補助があるものの、総工費約 7 2 億円もの事業となっております。民間活力を導入した P F I の手法については、否定するものではありませんが、たとえば、今後進める交流ゾーンにおいて事業を行うならば、地元業者に私有地を活用した事業を公募し、その賃料を将来にわたる財源に充当するとか、また桜やもみじなど植栽し市民の憩える公園にするなどの意見もあります。

また、京都府の行っている「お茶の京都」や日本遺産として認定された「日本茶 8 0 0 年の歴史散歩」など、山城地域の観光拠点として整備を行うのであれば、観光に特化した整備を行うべきであると考えますし、それにあわせて駐車場や宿泊施設などの課題を総合的に解決するべきであります。

そして何よりも、冒頭に申し上げました、人口減を目の当たりに、非常に財政が厳しい中、市民の大切な税金を投入するに当たっては、市民ニーズの高い子育てや教育といったこれからのまちを担う世代への投資、福祉施設への充当が最重要課題であると考え、今回 2 5 億 6 千万円を削除する修正案に賛成しました。

今後も、我々会派は、市民ニーズが多様化する中であって、事業展開をするにあたり、無駄を省きいかに財源を確保するか、厳しい財政状況の中、取り組んで参りたいと存じます。

司会

次に、公明党議員団、よろしくお願いします。

公明党宇治市会議員団（以下「公明党議員団」） 長野 恵津子 議員

みなさん、こんにちは、公明党宇治市会議員団です。

本市においてもいよいよ顕著な人口減少が始まりました。都市としての魅力をさらに高め、「住みたいまち、住んでよかったまち」と言ってもらえるようなまちづくりを目指し、議員団一同、毎日全力で取り組んでいるところです。

28年度の一般会計の予算編成は、27の新規事業と45の拡充事業ほかで624億8000万円の過去最大の予算規模となっています。近年、ゲリラ豪雨、台風による被害が発生し、災害に強いまちづくりは最も優先すべき課題です。新規事業として自主防災組織育成事業補助金が創設され、消防のはしご車も更新されます。財政的には市税収入の増加が見込める明るい材料が乏しい中、235億円を計上、前年よりさらに減少し、5年連続で40%を下回っています。その結果、10億円以上の基金繰り入れでの財源確保となりました。このところ見られる財政規律の緩和についてはたいへん憂慮しているところです。

今回の予算編成で最も注目されて論議が重ねられたのが、(仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園整備事業の債務負担25億6000万円でした。昨年9月議会において私たち議員団は修正案を可決しましたが、今回もまったく同じ内容、予算額の再提案でしたので、以下の理由で同じ判断をさせていただきました。

1. 当初の構想よりも大きな財政負担を伴う事業となり、毎年のランニングコストについても数値的な分析に不安がある。
2. 宇治公民館と市民会館を機能移転し、地域・観光交流センターを複合施設とすることについては反対を明確にしました。そもそも公民館のあり方についての論議がなされていない。公共施設のアセットのなかでどうするかという課題がすでに目前に迫っているにもかかわらず、安易に公民館建設には国の補助金のメニューがないからという理由で無理やり一緒に作ってしまうというやり方については納得がいきません。
3. 予算委員会の質疑の中で、PFI事業25億6000万円については「上振れもある」ということがはじめて明らかにされました。議論の材料として、可能な限りの精査した数値は必要ですが、公民館利用者の数についても実人数はわからないとのことで、最後まであいまいな数値に不安を払拭できなかったというのが正直なところです。
4. 公民館のスペースを観光に特化し、PFI事業者が利益を少しでも多く出せるよう自由な裁量で最善のプランを立てるべき。

ずっと以前からの本市の課題であった宿泊施設の確保については、国が民泊を進める今、大きなチャンスといえます。

予算委員会では、公共施設、特に学校の汚いトイレなどの改修や待機児童対策、育成学級の改善、中学校給食のあり方などにも議論が集中しました。

私たちの会派では、一貫してこれまで以上に無駄を排除して、必要な施策を確実に進めていくことの大切さを訴えてきました。財源には限りがあります。あれもこれもと出来る時代では

ない、生活者の感覚、市民の視線をしっかりと発揮し、市民の皆さんが納得いく税金の使い道をこれからもしっかりと目指してまいります。ありがとうございました。

司会

次に、京都維新・宇治、よろしくお願いいたします。

京都維新・宇治（以下「維新」）片岡 英治 議員

予算委員の一人として2点強調いたしました。太閤堤歴史公園と宇治川堤防強化です。

太閤堤は、16世紀の終わり頃に豊臣秀吉が伏見城を築城したときに、宇治川の流れを伏見城の下までもってきた、その為に洪水が起きた。だから洪水を防ぐために作ったのが太閤堤なんですね。太閤堤に反対した理由です。行政は2つの数字を示しました。太閤堤によって、年間約26万人の観光客が立ち寄る。そして年間約1億2000万円の利益が出るだろうという。これを私はまったく信じてはおりません。なぜならば、宇治は昔から奈良と京都の二つの間で、いわば限定的な観光都市なんです。だから太閤堤ができたといって、約26万人の観光客が増えるということはありません。ここに着目をして私はこれに反対しております。

似たような施設と比べてみたらいいですね。静岡県島田市、大井川を挟んで霊峰富士が見渡せます。国際空港の近くにあって大型バスがどんどんやってきます。爆買いができる施設があります。温泉地があります。そこでつくったお茶のミュージアムは、当初は17万1000人でしたが、どんどん減ってきて去年はわずかに2万5000人です。38万円の赤字です。宇治で平等院を見て、そしてどっか1カ所見て昼食をして去っていくと、これがパターン。これを破って太閤堤に26万人がくるということはありません。私は26万人の観光客と1億2000万円の利益、これは絶対に実現できないということを強調しております。

その次は堤防強化です。堤防強化の前に、天ダムの再開発が今もう半分以上進んでいます。天ダムから毎秒900トンの水を流し、そして新たに右岸の山をくり抜いて毎秒600トン、あわせて1500トン。とんでもない。いまの中之島公園は、840トンで水没します。1500トンとんでもない。それよりは、堤防強化が先です。これをしっかりとやってもらいたい。これを完全にやりますと、10年間で約2000億円必要だということではありますが、住民、大阪も入れれば30万人以上の方に影響があります。生命と財産を守る。さらに10年間ですから毎年200億円がかかる。地域の活性化のためにも堤防強化はぜひやってもらいたい。

司会

次に、無会派の浅井議員、よろしくお願いいたします。

無会派 浅井 厚徳 議員

無会派の浅井です。

宇治市の人口が減少に転じた今、これからも宇治市に住み続けたいと思える魅力あるまちにしていくためには、子育てしやすい環境作りが第一です。二つ目には、バス路線がなくなった空白

地域で交通手段を1日も早く確保すること。三つ目には、若い人たちが生まれたこの地でこれからも住み続けていくことができるような、そういった就労環境を整えていくこと。そういうことをとりわけ強調しておきたいと思います。いずれも新年度の予算には重点的な施策として計上されておりますので、積極的・具体的な施策展開を期待しておきたい。

二つ目にはいくつか項目がありますけど、一つは障害者施策について触れておきたいと思います。障害者の方々が困ったときに、例えば災害時、緊急時に周りの人たちに助けを呼ぶためのヘルプカードの導入。宇治郵便局西側の市有地を障害者事業用地として活用していく。手話通訳養成講座を充実する。積極的な予算編成がされていることは評価しますが、懸案の課題であります療育手帳Bに対して医療助成が及ぶよう予算措置が見送られましたが、誠に残念に思っています。実現にむけて市長のご決断を求めたいと思います。

最後に宇治川太閤堤跡歴史公園について、新しい観光拠点になり得るかどうかについてだと思います。PFI方式は目的ではなく手段であって、目的は新しい観光拠点として多くの観光客が来てくれるものにということでもあります。そのためにはもう少しメニューが不足しているのではないか。もっともっと観光に特化すべきではないか。という部分があるものと思っております。

司会

ありがとうございました。次に質疑応答なんですが、ここで5分間の休憩を取らせていただきますので、よろしくをお願いします。

・・・・・・・・・・休憩・・・・・・・・・・

5 . 質疑・応答

司会

6分間の説明でみなさん、申し訳ありません。少しでも市民の皆さんの質疑等の時間を確保したいという思いから、このような手法を取らせていただいておりますので、どうかご了承いただきますよう、宜しくお願い致します。

次に質疑応答ですが、3時45分ごろまで、質疑応答の時間を取らせていただきます。質問者ならびに答弁者ともに、簡潔にお願いします。質問につきましては、市政・市議会に対する質問とし、個人攻撃、会派攻撃はご遠慮いただきますよう宜しくお願い致します。

それでは質問を受けたいと思います。質問のある方は挙手をお願いします。

質問

こんにちは。毎回このような形で、市民と議会のつどいという形で、普段お話しできない議員と話す機会を作っていただき、毎回楽しみに参加しております。たくさん思いはありますが、先ほどから人口流出を防ぐということで、若い世代の支援の形を各会派から伺いましたが、私としては中学校の給食を欲しいと思い、私も署名活動に参加しております。聞くところによると、宇治の昼食あっせん事業は利用者も少なく、私たちから見たら失敗ではないか、と思っております。近隣でもほとんどが中学校給食をしようとしている中で、宇治は今後も今の状態を続けていくのか。中学校給食が必要と思っているのか。すべての会派にお聞きしたい。

もう一つ要望ですが、今回の6分、3分について、共産党のように文書で欲しかったです。メモを取りきれませんので、宜しくお願い致します。

司会

1つの質問と1つの要望で宜しいですか。それでは説明した順で各会派お答えいただくことで宜しいでしょうか。それでは共産党宇治市議員団さん。なるべく簡潔にお願いします。

共産党議員団

中学校給食はただちにすべきと考えております。今ありました昼食提供事業、いわば業者の弁当を注文をとって提供する方式ですが、0.8%しか利用がありません。学校によれば1人くらいですから、やってもやらんでも効果がないことははっきりしている。であるのに、教育委員会は、今年度その総括をすと言っております。総括する必要なし。直ちに全国がやっているような中学校給食をすべき。

司会

続きまして、民主党市議員団さん。

民主党議員団

中学校給食、私どもも3月定例会で質問してまいりました。先ほど言われた通り、昼食のサービスは多く利用されていないという状況の中で、市教委はどういうふうに考えていくんだ、ということで質問しました。状況を踏まえて今後検討されるとのことですので、状況を踏まえて、財政的には多額な費用がいりますので、状況を的確につかんでしっかりと対応していきたいと思えます。皆さんの意見は重々承知しているので、意見提起をしていきたい。

司会

続きまして、自民党市会議員団さん。

自民党議員団

民主党と似ているんですが、中学校給食は、私がちょうど議員に復活したときに、予算委員会で教育長に質疑したんです。朝ごはんを食べない子が大変多くなってきた。家庭環境も非常に複雑になってきた。ただし私どもが中学校給食を求めたのは、最低限お母さん、朝だけは作ってくださいねと。携帯電話も置いて、子どもと向き合った時間を作ってくださいねと。そのかわり中学校給食はしたらどうですか、ということはもともと私も申しあげておりますし、今回のいろんな議論の中で中学校給食、まあいずれは今の昼食サービス事業というのはやっておりますけれども、その推移を見て、宇治市がどう判断するかと思えますので、別段うちのところが反対する理由はございません。

司会

続きまして、公明党宇治市会議員団さん。お願いします。

公明党議員団

私どもも財政が許すのであれば、次からすぐに中学校給食されたらいいと思います。ただ全国的に中学校給食の数字は高いですが、完全給食という中では、いわゆる選択式スクールランチも含まれている。ですので、たしか87%くらいですか。のうちの一定の選択式スクールランチを含めた数でありますので、私どもはなかなか出来なかった中学校昼食提供事業、確かに今利用率は低いですけど、カレーを始めた。温かいまま提供できる。そうした工夫をしながら、今回一定成果を見るということですので、それをしっかりと見定めたくて、そんなに大きな財政支出を伴わない方法が他にないのか、そういったこともしっかりと検証してやるべきだと考えております。

司会

京都維新・宇治さん、お願いします。

維新

弁当提供が一つの進歩と思っていたが、利用者が非常に少ない。これはいつかは必ず破綻します。業者が続くはずがありません。そこで今は学校給食推進派です。そして原稿の件ですが、私

は自分の書いた原稿を読み間違えたり、2行くらい飛ばして読んだりしますので、自信がございませんので原稿なしでやらせていただいております。

司会

浅井議員さん、お願いします。

無会派 浅井議員

中学校給食提供事業について、私も現段階で出来る方法があれば、それはそれでいいのではないかと。逆に要望した経過があります。その際、学校給食法に基づいた提供をしていくべきではないかと、を言っておりました。しかし現在の昼食提供事業は、学校給食法に基づかない形でやっております。学校給食法に基づくと、保護者負担は食材費だけで基本的に済むわけです。小学校の場合は食材費1食210円、230円程度だと思います。1カ月でだいたい4000円になると思います。その程度の財源で、学校給食法に基づく昼食提供事業が可能かどうか。もちろん外部委託して、弁当方式で、例えば選択式の弁当方式でやっていくことが可能かどうか。ただ将来的にはもちろん小学校の給食のように、自校方式かセンター方式か、そういった形のものが将来的にはいいのではないかと考えております。

司会

ありがとうございます。そしたら、続きまして質問ある方宜しいでしょうか。

質問

こんにちは。議会の皆様ご苦労様です。2つ要望があります。1つは先ほども言われた説明について。やはり資料としてほしい。あとでゆっくりと見たいのもありますので。ここからは本当に見にくいのです。ですので、資料提出をお願いしたい。予算の位置づけで、予算は市民生活に直結するものだと書かれています。その観点から言えば、太閤堤は私らが普通に考えても生活に関係ない。そのことが宇治の市民の生活を良くするとは思えないので反対してほしいと思います。予算の特徴、重点的取組の中で災害に強いまちづくりを推進するとなっておりますが、毎年異常気象でいつ宇治川が溢れるか決壊するか分らん状況で、毎年その時期には心配しています。そうした中で、長期的な施策と当面やってほしいことがあります。少なくとも何年か前に宇治川が溢れたときに、ほとんど情報が伝わらない中で、市民が右往左往したと。市役所も右往左往したと。やっぱり生命にかかわる問題、少なくとも防災無線を予算をかけて必要な地域に設置してほしい。特に水の心配のあるところ。高いところはそうでもないかもしれませんが、どこであるか分からない。そうした中で設置してほしいですが各会派のお考えをお聞きしたい。

もう1つは交通問題ですが、私の住んでいる西小倉ではバスがなくなり3年くらい。ほかのところも非常に困っているところもあります。宇治市の中で交通政策がないように思う。各会派で交通政策について考えていることがあればお聞かせ願いたいと思います。

生活と予算の関係ですが、隣の城陽市ではコミュニティバスに毎年5000万円かけて走らせている。税金の使い方としてちゃんとやっていただきたいので、考え方などお聞かせください。

司会

今、質問は2つということで、防災関係のことと、交通政策のことについて、で宜しかったでしょうか。では、何かありましたらということですが、日本共産党宇治市会議員団さんから、お願いしてもよろしいでしょうか。

共産党議員団

災害のことですが、質問は避難のことで宜しいでしょうか。避難も防災無線も必要でしょうし、避難計画も必要でしょうし、避難する方法、場所の整備、そういったことを全面的にやってきちんとした避難対策が講じられなければならない。緊急の課題だと思います。その部分でいいんですかね。

交通の問題については、私どもはデマンド交通、デマンドタクシー、デマンドバスが必要ではないかとしております。退職された方が増えてくる中で、バスの需要が減りバス経営が大変でバス路線が廃止ということはあちこちでおこっております。それ以外にもそもそもバス路線がないところもあります。生活のための交通手段の確保のためには、他都市がやっているのは、予約をすれば家までタクシーが来て、病院なら病院まで乗せてもらって金額を払う、こういう仕組みをやっている、やり始めている自治体が多いです。宇治の特徴からしてもそういった交通政策を作るべきだと私どもは考えております。

司会

民主党市会議員団、お願い致します。

民主党議員団

災害についてはみなさん同じ意見だと思っております。私どもも、地域防災計画、ならびに地域での防災力が高まるよう、何とか自助、共助、公助といった各々が責任感を持ちながらやっていかなければならない。何よりも市民の皆さんの生命、財産を守るという防災づくりに取り組んでいく。

バスですが、各地域を見ると、宇治のまちは道も狭く、また上のほうの坂の多いところとか、いろんなところがある。高齢者が多くなる時代ですし、先ほどもありましたけど、昼間あまり乗られていないバスが定期的に走るということは、なかなか路線として会社として難しい。より良い交通の形作りを頑張ってやっていきたいと思っておりますのでご理解お願い致します。

司会

自民党宇治市会議員団。

自民党議員団

まず防災対策について。防災対策はすべての施策に優先して最大限の配慮すべき課題だと考えています。それぞれの地域や立場、性質に応じた的を射た対策をすべきだと考えています。しか

も長期的なものから短期的、今すぐできるものと、長期的にどう計画立ててやっていくか。こうしたものを整理して考えるべきだろうと思っております。防災無線に関して、前回の豪雨災害のときも、非常に情報が伝わりにくかった。こういう話もありますので、まず現実的な話としては、FMうじ放送の出力を上げて、全世帯でお聞きいただけるような対応策を求めていく、というのは現実的な話ではないかなと考えております。

次に交通対策ですが、少子高齢化が進むということで、宇治市も構造的に変わってきているわけなので、交通政策というよりむしろ福祉政策と位置付けて、交通弱者を解消できるような、それこそデマンドタクシーであったりコミュニティバスであったり、その可能性を探っていくべきだと考えております。

司会

公明党宇治市議員団さん、お願いします。

公明党議員団

私ども直近の議会質問で、稲吉議員が防災無線については設置すべきという質問を展開しておりますし、またバスについても、一定の利用者が見込めない状況ではバスがやっていけない時代ですので、しっかりと交通空白地域を中心に住民の方が立ち上がって進めておりますが、しっかりと行政が連携をとっていく形で進めていかなければならないと思います。

司会

京都維新・宇治。

維新

防災無線の前に実際にトイレの問題。高齢者の方、あるいは体の不自由な方が、今の学校に避難してすぐに使えるトイレがあるのか。洋式トイレが間に合うのか。これは私どもが行政にどんどん注文つけなければいけないと思います。

交通の問題。去年の10月20日に、安倍晋三を議長としてライドシェアリングという国家の戦略特区を募集している。自治体が認めれば、一般の人たちが自分の自家用車で困っている人を運べるシステム。宇治市としても研究してやってほしいと思っております。これは議員として要望します。太閤堤、私はお金をかけなければこれは必要な資源の一つだと思っております。お金をかけない方法で。

司会

浅井議員。

無会派 浅井議員

交通政策について意見を申し上げたいと思います。バス路線があったところがなくなった地域が、西小倉、槇島、明星町なりありましたが、明星町は地域の皆様の取り組みでバスが復活して

ますが、まだ依然として西小倉と槇島は、地域の取り組みが継続中です。この2つの地域にまず、最大限宇治市も支援をして、早くこの2つの地域でバス路線、バスにかわりうる交通手段ができるように頑張ってもらいたいと行政に言っております。

もう一つは電子的な交通政策。市民の足を確保ということで、高齢者・障害者の人たち、そこに力点を置いた交通政策を考えないといけない。いわゆる福祉バスと言いますが、福祉バスなど主旨を限定して、宇治市全体にどう展開していくか、をやっていくべきではないかと思えます。

司会

よろしいでしょうか。

(関連との声)

どうぞ。

質問

関連した要望です。私は障害者の当事者団体の役員をしております。そこで今おっしゃっておられる、障害者の移動の足が絶たれてすでに3年。現実にはいろんな話は出ておりますが、現実に今困っている人を早く助けてほしいと要望します。隣の京都市では500円のタクシー券を月に2枚。500円で、800円かかれば300円の負担で行けると。1000円やったら500円出さばったらいい。そういう形で具体的に早いこと迅速にやってほしいこと要望します。

司会

要望でよろしいですか。ありがとうございます。

質問

聞いてましたが、議員のみなさま、今日来ておられる皆様、日常的な要望が多いですが、私は宇治市の将来について質問します。市長は施政方針の中でいろいろ書いているが、日常的な経費が増えて、財政が苦しくなると言っている。それに対して議会は何もいってないのか。先ほど議員団の一つから出ておりましたが、職員の給料を減らすとか人員を減らすとか、なんか手を打たないとダメですね。もう一つ方法としては、観光ですね。観光の中の一つとして、宇治のブランドを市長は高めるといっているが、高めるとはなんだと言いたい。宇治は宇治茶がある。戦前はトップであったくらいの宇治ブランド。世界文化遺産の平等院と宇治上神社がある。それにほかにも源氏ミュージアムなどいろいろある。ブランドは確立している。それをどう広めるか。定着するか。ホテルの問題。宿泊施設がないと。その一環の中に太閤堤という歴史的な資産がある。これに関しても急に出てきて施政方針にも何も書いてない。書いてないのに大きな予算を立てた計画がポッと出てくる。これはどういうことか。根本的に宇治市の行政の問題だけど、行政はもっとメリハリをつけて、継続的なものは出さんなんけど、なけなしの財布の中で何に重点的にするか。1年に1件くらいしか出せないでしょう。今の予算規模からいったら。そういうものをきちっと説明することを議会として追求してほしい。たとえば人口が減る。それを増やすには中学校の給食の問題でもいいし、住んでどこにいても宇治市に住んでいることが誇りに思えるよう

な、宇治をつくってほしい。そのためには将来宇治市が残っていかないといけない。そのためには赤字になってはいけない。そのへんをきちっとやらんと。要望はいいんですよ。必要なものは必要。たった7%の予算の中で何をするか。それを真剣に議論していただきたい。要望しておきます。

司会

ありがとうございます。一番奥の。

質問

今回初めて出席しましたので、ぜひ質問したい、教えてほしいと思います。先ほど予算のことで太閤堤の予算が、25億6000万。否認されたということでしたね。これはランニングコストの25億6000万だと思うんです。PFI方式を廃止ということですから。その他、初期予算として、堤の整備をしていくのにお金がかかりますよね。あれ予算どれくらいかかっているのか。ランニングコストの分が減ったんだから、その分どのようにするのか。予算委員会の委員の方々に、それはきちっとお互い理解していると思うんですが、そのへんを質問したいわけです。予算減っているわけだから。国の補助金ももちろんなくなりますよね。国の補助金なんかは、私たちの税金で交付税としてくるんで、別に手を出したっておかしいわけじゃないんで。だけど国の予算があるから宇治市でもやるっていう、そんな消極的なことではダメ。国の予算があろうがなかろうが、やるべきことをやっていく。そういうことで進んでいただかないと。国の政策に左右されてはいけない。予算減った分をどうするのか。教育のほうに使うのか。たとえば先ほどトイレが汚いという話が出ておりましたが、そういうものになるのか、お伺いしたい。

2番目。インターネット、ユーチューブで見ていると、年間で27年度、各委員会で視察をしていますね。11件視察をしています。これの予算、どこから出ているか知りませんが、いくらかかっているのか。その結果、どういう報告をされているのか。それが市の運営にプラスになっているのか。はっきり聞かせていただきたい。全部インターネットでコピーしてきました。各町に行っている。例えば箕面なんかに行ってますね。これは所沢。当然泊りがけで行っている。それは構わんですが。所沢にはたとえば、どういうことでそこを選んだのか。どういうことで箕面市を選んだのか。今、少子高齢化など議論が出ておりますが、そういう問題にふさわしい視察だったのか。そういうことを聞きたい。せっかくお金をかけて各地方都市、あるいは重要な都市に行かれていますし、それなりの成果がないと何のために行っているのかとなる。その辺を各党どのように考えているのか。それが2番目です。

今日こういう会合開いていただいて、感激、嬉しいです。こういう会合、年に1回儀礼的にするのではなく、9月にするとか、3カ月に1回とか、大変だと思いますが、市民と市会議員の意見交換の場をもっと設けてほしい。ついでに申し上げますと、各政党の議員の方々は忙しいと思うが、市で自分たちの政党としてどんな活動をしているか、そういう会合は開いたことがあるのか。お伺いしたい。中には100条委員会の問題となるようなことをしている議員もいる。国にも県にも地方議会にもいるわけです。政務調査費ですか。何でおかしな領収書が出てくるのか。前渡なんかしなくていいんですよ。お金なんか。たとえば運転資金が1万か2万あれば、ガソリ

ン代を払ったら領収書を貼って金をもらえればいい。運転資金は1万か2万あったらいいんじゃないですか。年間でいっぺんにするから、ごまかさなあかんというスケベ心になると思うんです。そういうことも含めてお金の使い道をきちっと示してほしい。これは要望です。まだたくさんありますが、時間を取るといけませんので、やめておきます。

司会

2つ質問、1つ要望でよろしかったですね。それでは日本共産党宇治市会議員団さんから。

共産党議員団

えっと、私は5つあると思うんですが。太閤堤ですが25億6000万円は設計、建設、運営に至るすべての経費。19年間分のもんです。建設のほかに用地費が必要です。それ以外にも史跡の保存のための工事。これは今やっています。全部含めて80億とか72億というのであって、そのうちの交流ゾーンを中心にして作る、箱物を作ったり運営したりするものが25億6000万円。これ一括して出そうと、いうものについてやめなさいと言ったのであります。補助金の返還が必要になるんじゃないかと。補助金をもらっているのは用地費ということで限定をして交付されておりますので、用地に使って必要な目的を適えれば返す必要はないので大丈夫だと考えています。そのお金はほかに使えるのか。広い意味で言えば限られた財政力ですから、そこに使わなければほかのところに使えるとわれわれ思いますが、そのお金を横に回すという性格のものはありませんけれども、全体の力の入れどころを変えればほかの事業は出来る、というのは間違いないことだと思います。

2つ目の視察がその後の活動に活かされているのかということですが、ご質問が会派の視察なのか分かりませんが、われわれ視察した内容についてはその後議会活動質問などに活かして頑張っているつもりですが、まだまだみなさんに見えにくいということはお意見いただきましたので、どんな視察がどういうふうに使われているのか、もっと見えるようにしていかなければならないと思いますので、よろしくをお願いします。

それから、この会合を1回以上すべしということですが、条例では年1回以上となっています。これは私だけで決めれることではないので、ご意見あったので議会で検討すべきだと思います。それから政党活動をしょっちゅうやっているのか、ということですが、まだまだ質問が出てくるようですから見えてないと思いますが、私どもは議会の報告会などしているつもりですが、まだまだ見えてないということですので、みなさんに広く案内してきちんと議会報告ができるよう政党としても頑張っていきたいと思います。

司会

民主党市会議員団さん、お願いします。

民主党議員団

歴史公園の関係でございますが、これまで投資してきた費用が約18.8億円ということで、歴史公園全体の事業費は72.6億円ですが、そのうちの土地購入費が約38.2億円、史跡を

保存する費用が約7.8億円、交流ゾーンの整備が約2.3億円。その他調査費などが約3.6億円となっております。財源としては史跡部分の土地購入は国から80%の補助金が出ております。整備費には50%の補助が出るということでありました。交流ゾーンについては土地購入整備費ともに45%の補助金が出るということでありましたし、トータルで約37.9億円の補助金が出ることとなっております。残る34.7億円のうち、20.2億円は市債で賄いまして、市が当面用意する必要があるのは15億円となっております。そういうことで、あとはPFIの事業を取り入れて、税金を少しでも使わずに民間のほうにお任せするというのがこの手法でありました。我々も歴史公園はこれからの宇治の将来にとって負担になるのはいけないので、しっかりとビジョンを作っているところであります。平成19年に史跡が見つかって、今日までいろんな形で議会の中でも議論させていただきまして、何とか負担の額が少しでも皆様方にご理解いただけるように考えているところであります。

視察の件ですが、われわれも十分に視察先を吟味して一般質問や委員会での活動に使わせていただいております。今、議会改革で政務活動費の用途基準を議論してということで3月定例会でも議論しておりまして、より市民の皆さんが分かりやすいようにしようと、今インターネットでも使い方が見れるんですが、もっと詳細に見れるようにしようと。また報告書もそこへ添付をしてはどうかと議論している最中ですので、市民の皆様からよりよいものにしたいと思います。

司会

自民党宇治市会議員団、よろしくお願いします。

自民党議員団

前段2会派からおっしゃったとおり、お金のことはその通りですが、うちの会派の視察ですけど、当然情報をなかなか提供できてないことは反省すべきなんですが、うちのところは毎年会派としては東京の省庁のほうに行っておりまして、それぞれの例えば国土交通省であるとか文部科学省であるとか、地域の地方自治体では解決できない法的な整備の問題等ございますので、そうしたことも含めて各省庁の関係方と、議論して改善すべきところを要望するなど視察をさせていただいております。毎年1泊2日で行っておりますが、すべて会派に支給された政務活動費については余った分は当然お返しするというので、予算のところを見ていただいたらわかるというふうに思っております。

それから、委員会等で視察に行く場合。先ほど所沢市や箕面市が出ましたけれども、箕面市は日帰りで広報委員会で行きまして、市民の皆様の日頃からお見せする市議会報告について、もう少し改良の余地があるんじゃないかということで、そういった勉強をしてまいりましたし、所沢では去年の1月から出来ました空き家の関係について視察をして、宇治市でも取り組んでいきたいということで行かせていただきました。ただ日頃の党の活動は議員それぞれが後援会等の活動で現在懇談会、市政報告会やっておりますが、もう少し範囲を広げてやっていきたいと思っております。

それから市民と議会のつどいについて、これはこういった形がいいかも含めて検討しておりますし、以前にも地域を分けてするべきという意見もありますし、年数回するなどいろんな意見がございました。今検討中でございますのでよろしくお願いいたします。

司会

公明党宇治市会議員団さん、お願いします。

公明党議員団

太閤堤の25億6000万については、3名の方言っていただいたので割愛させていただきます。本当に必要なところに、しっかりと予算をもっていくというのは私どもの仕事だと思います。(もう少し大きな声で、との声) すいません、失礼しました。

2番目。会派の視察ですね。視察は、個人視察、会派視察、委員会視察、とそれぞれ性質が違ったものでやっているわけでありまして、議会改革の中で報告書を見ていただけるようにしよう、あるいは領収書も全部ホームページから閲覧できるようにしていこうと、少しでも多くの方々に、必要なあり様を見ていただいて、検証できるシステム、そうしたことを今進んでいるところであります。

それから市民と議会のつどいをもっと多くとお声をいただきました。今回4回目ですがこれだけたくさんの方がお越しいただいたのは最高だと思いますので、今後しっかりとそのあたりも検討したいと思います。

それと先ほど政務活動費を前渡しするなとありましたが、そういう意見出ておりますので、しっかりと検討したいと思います。

司会

京都維新・宇治。

維新

長野議員は立っておられましたが、私は胸のほうが長いので、立っても座ってもあまり身長は変わらないのですが、まず太閤堤ですが、修正案を賛成。すなわち否決されましたので、現在はっきりとした数字は72億円であとは宙ぶらりんだと解釈しております。太閤堤は宇治市の観光資源の一つであることは間違いないので、これだけ何とかしてほしいという考え方を持っております。

視察ですが、政務調査費は個人、無会派ですね1人の場合は24万円で、会派の場合は1人プラス36万円です。合計60万円です。それから4つの常任委員会そのほかの委員会ございますので、それが全体で年間約750万円くらいあると思います。もちろん報告書も出しておりますが、議員は必要に応じて議会の場で進言をしております。それを取り上げるかどうかは行政の判断であります、そういう状態です。

司会

浅井議員、お願いします。

無会派 浅井議員

太閤堤について少しだけ補足しておきたいと思います。25億6000万円の部分、債務負担行為という形で否決されましたけれども、この25億6000万の中にはいわゆる史跡ゾーンと交流ゾーンの大きく2つに分かれております。史跡ゾーンについては何も否決はされていないので史跡の保存という部分についてはこれからも続けられていく。こういうことに当然なっていくわけでありまして。交流ゾーン、いわゆる地域・観光交流センターを中心とした、いわゆるABCで言えばCゾーンとなっておりますけれど、この分について基本的に25億6000万円が否決されましたので、ここをどうするか、というのが、今後行政がどういうことが可能なのかも含めて検討してくれるものだと思います。そこは議会の様々な意見を踏まえながら、行政が出来るだけ早く提案をしてくるだろうと思います。史跡ゾーンはすでに執行済みのものもあります。0.7億円ですか、7000万ほどはすでに執行済みでありまして、今年も史跡ゾーンについては用地買収も含めて継続していくことになる。交流ゾーンをどうするかはこれからですが、史跡ゾーンは継続することだけ補足しておきます。

司会

ありがとうございます。申し訳ありません。少し時間が迫っております、申し訳ないのですが。

(会場から「続いてやったらええ。そのために来ている」等の声)

どうぞ。

質問

ご苦労様です。要望先に言っておきます。先ほどからありますが、このつどいはとてもいいと思います。けど時間が足りません。議会でも夜中の10時ごろまで延長するんだったら、10時ごろまで延長してもらいたい。この質問の場所が一番のキーなんですから。それと条例を改正して、1度以上、年間で2度くらいはやってください。いっぱい市民としては要望があるんですから。まずそれが1点。

それから、先ほどからこれも何人もおっしゃっておられますが、必ず資料を出してください。それこそみなさん政務活動費もらっておられるんでしょ。それできちんと、さっき共産党が出したようにあんなでもいいし、こういう資料を出してください。メモをしましたけどわからないんです。聞いただけではね。必ず来年からそれやってください。それが2点目。

それからちょっと厳しいんですけどね。3月18日でしたかね。予算議会で太閤堤の関係のありましたね集中審議が。来てたんですけどね、本当に残念に思ったんです。今皆さん方の姿勢がはじめて今日のここで姿勢がそれぞれ賛成、反対がよく分かりました。もうちょっと、当局をなぜつめられないのか。当局が何べんも、副市長なんか予算額もでたらめ言ってたし、意見なんか何べんいったか。調査、検討という言葉も何べんいったか。そのたびに、どこまで検討したか。いつ答えが出るのか。もっと与党野党問わず、もっとつめてください。あれでは議会が当局からなめられている感じがしたんです。非常に残念でなりません。当局が劣化している。もっと当局を緊張ある姿勢でつめてほしい。来年また決算でも予算でも傍聴に来ますけど、どうかみなさん、もうちょっと緊張した態度で議会をやってください。強く要望しておきます。

意見2つ。聞きたいこと1つ。25億6000万円が削除されましたから、それはいいんですが、宇治公民館、あれ本当に残るのでしょうか。私は中宇治の人間ですが、あそこいつも使わせてもらって、年間のべ6万人の人が使ってますけれど、中宇治地域に社会教育施設がほかに本当はない。なんとか残してほしいし、あそこでしかし出来ないんだったら、中宇治地域でそれに代わる場所を探して、何としても中宇治地域で、特に中高年のみなさんが社会教育活動を頑張ってるから、何とかその施設を作ること与野党あげて頑張してほしい。皆さんの決意を聞きたい。

もう一つは、片岡議員だけがおっしゃいましたが、宇治川の堤防問題。これ太閤堤より重要なんですよ。私は宇治橋西詰で塔の島を守りましょうなどの署名やらの活動しているが、ものすごい観光客が多い中で、みんな塔の島のむちゃくちゃな工事ね。どうなっているんだと。あれは国がやっているんですなんて言っても答えにならないんです。観光客や地元の方は宇治市はどうなっているんだとみんな思っていますよ。太閤堤より重要だと思うんです。だからこのことも、与野党意見の違いはあると思うが、きちんとしてください。これこそ重要な問題でしょ。

あとは循環バスの問題。たくさん出てますが、これは先ほどからみなさんおっしゃいましたからはしりますけども、特にこの宇治川の堤防問題と、それから公民館問題について意見を聞きたいと思います。

司会

ちょっとお待ちくださいね。申し訳ありません。一応ですね、皆さんの意見もたくさんありまして、お聞きしたいのはやまやまなんですけど、この市民と議会のつどいですね。今後も継続してどのような形で行っていくのかというの、みなさんのこのような意見をいただいた中でさせていただきたいと思います。ただ、今日はですね。なんにせよ2時から4時ということでセッティングさせていただいて、今日来ていただいている。

(「誰が決めてん」との声)

それは議会で決めさせていただいて、

(「みんながええ言うたらやったらええやん」)

ただそのところは今後の、

(「 」)

そうではなくて、ここのは、

(「みんな今言わはった人はな、僕も意見言いたいけど時間ないさかい言うたら、僕の意見は抹消されるんやで。来年まで待たんならん」)

違います。そのところは、アンケート用紙も配らせていただいて、そのところに意見が言えなかった方に対しては、書いていただいたものは、

(「私はみんなの前で言いたい。聞いてほしい。なんでできひんねん。市議員みんないてんねんから、やろう言うたら出来るやないかい。何人意見言いたいか聞いて、2,3人や。聞ける範囲内やったら聞いたたらええやん。」)

はい。分かりました。すいません。あと何名ほどお聞きしたい方おられるでしょうか。

ちょっとそしたら、今いただいた意見を答えていただいて、そのあと調整させていただくことで

よろしいでしょうか。

(「今までの意見とちやうこと言いたい人を聞いたったらどうや」)

ちょっとお待ちください。

先ほどの女性の意見、各党派ということでよろしいでしょうか。

(「先に意見を聞いたら」)

そうですか。そうしましょうか。そしたら、それぞれ意見のある方どうぞ。

質問

宇治市のつどい、これで4回目です。たくさんおいでになったと言われる方もおられますが、第1回目120、2回目70人、3回目70人、今日ざくっと90人。みなさん28人のとった票数7万5000。これいかがなものか。28人が1人ずつ10人動員をかけても280人が集まねんねん。そういう施策。自民党から共産党まで無所属の方も出来ないんですか。自分の後援会のときはたくさん集めて、こんな肝心な時に人を集められないって、どういう市議員や。辞めとは言いませんが、心に刻んで次回からやってください。私の希望としては宇治市民会館、いや宇治文化センター1200人くらい集めたいと思います。どうです市議員のみなさん。各党派1人ずつもの言うのはなくそうとのことですので、ぜひとも1年間365日あります。頑張ってください。ただし、3年後検証させていただきます。

もう1点。大変宇治公民館の問題出ております。榎島町では、昭和26年3月1日、2町3村対等合併として進んできました。私の親父御袋子々孫々に至るまで、公民館がなくなりました。宇治公民館に吸収合併されて使ってください、こう言われてます。ところが今度は、川東に行くと。使いにくい。悪いけれど、100億円かけて、堤防から橋をかけていただけますか。もしくは和船でもモーターボートでもやってください。そうせな榎島の人には行けません。まして交通機関のない榎島の人間、ここまで来るのに歩いて30分。西目川の方になると1時間。カゴタツでも冠婚葬祭のホールでも立ててもらわんな、死んでしまいます。歩いてくるのに。交通問題、市議員のみなさんどう思っておられるんですか。3年間榎島の人間我慢してきたけど、これ以上我慢できない。こういう機会しか言えないので言わせてもらいます。私も名前をはっきり言いましたので、市議員のみなさんとどっぴりつかって、戦いたいと思います。いかがですか。

それと、議員の給与は下げることはせんといってくれ。なんでや言うたら、若い人が市議員になって頑張ろう思ってる人もいはります。給料安かったらね。やっぱり生活できひんかったら困ります。せやよってに私は提案します。出来る出来ないは別にして、自民党から共産党、無所属の方までお願いします。宇治市の市議員(たぶん職員の言い間違い)の給料、638万円。これ平均です。400万円の方もおられれば800万円の方もおられるでしょう。給料を10万円下げる活動をしてください。やり方を提案します。ボーナス、春に5万円減らす、冬に5万円減らす。私もサラリーマン生活40年ですが、毎月5万円減らされたらうちの家内怒ります。結論的に言います。そうすると10万円残ります。1300人いますから、1億3000万、お金が浮きます。市長にあげてください。それで市長が好きなように施策をやっていく。それに議員が検証する。切磋琢磨して宇治市民が末永く、楽しく生きられるような市にしてほしいと思います。

非常にきつい言葉で感情的になり申し訳ありません。理性的に言いますと、それだけ宇治市を

愛しています。どうぞよろしく願いいたします。

質問

大久保町のほうから来たんですけど、いろいろいっぱい言うことは4つも5つもあるんですが、一つに絞って聞きます。イオン大久保が閉店しますね。現在、売り惜しみ、売りじまい、店をしまうような状態ですわ。去年の暮れから今年に入って、各議員さん、市長さんとか商工会議所、いろんなこと申し込んでくれたと思います。ありがたいことですけど、現実に5月が見えてます。買い物難民がどれほどいるか。議員さん方。地元の人には知っておられると思いますわ。それ一番困ること。難しいことはよく分かりません。大久保地区は難民ですわ。買い物難民。市会議員の皆さんはどのようにイオンに申し込んでいるのか。継続はもうないと思いますわ。このあと何とか、宇治市のほうで後で何が出来るか分かりませんが買い物難民だけお願いしたい。それと議会報告のほうは、ある議員さんから4カ月か3カ月に1回、もらってますので、議会のほうは進行状態よくわかっておりますので、ありがたいことです。

質問

この機会に少しお尋ねしたい。まず二元代表制と議会制民主主義について。二元代表制で市長の考え方と議会が分かれた。これをどうするのか。大阪前市長がやったように、市長が引退して再選挙するとか。名古屋市長とか九州の市長がやったように、なんか市長がやることあるのか。議会解散の方法があるのかないのか。それから議会制民主制で賛成、反対あると思いますが、採決した場合に28人の共同責任やと思う。共同責任で全体を説明して納得させなアカン。反対した議員はいつまでも反対している。予算の採決でも議会から逃げたのがある。採決に参加しなかった。どういう責任を取るのか。どういう考えでやったのか。今まで反対された方おられますが、予算案でいつまでも反対おられます。それについてどのようにお考えか。共産党からみなさん、ご回答願います。

質問

10年になるんですが。4年前、南部災害のとき460件のうち150件が浸水被害にあいました。議員が飛んできて戦川の源流まで見に行っていたいただいて、本当にありがたく思います。……。現状ですが、中流から下流は京都府の管理。上流は宇治市の管理となっております。宇治市が一所懸命にやっていたいただいたんですが、4年経つんですが、……。宇治市の方が測量をやっていただき、護岸のかさ上げをしていただき、水がよく流れるようにやっていたいただいております。下流の方は京都府が川幅を広げようということで、5年計画で実施しておりますけど、用地買収が大変。5年計画の4年になるんですね。用地買収がなかなか。大雨が降るたびに寝れません。また大きな災害になるんじゃないかと。たえず京都府の山城土木事務所に、……。宇治市には上流のほう、なんとかかさ上げをしていただいて、被害を少なくするようにしてほしい。なんとか早くしてほしい。一番初めの、……。京都府のほうにも、……。

もう一つ、聞いておりましたら、宇治市で企業誘致、雇用の促進とおっしゃいました。嬉しい

ことであります。良い企業をどんどん誘致してください。まだまだ用地はあると思うんです。近隣、市町村、工業団地を作って成功している。宇治で働き、宇治で生活している。聞いたところ宇治市で消費生活のうち、宇治市で購入しているのが60%しかない。あとは京都やら大阪のほうで発生している。40%は外の方に流れている。宇治市で消費されるように、力を貸してください。

教育新聞に学力の診断テストの結果が出てました。宇治市が悪い。宇治市は京都府平均、全国平均よりもずっと低い。先ほどから教育環境についてもやりたいというのは嬉しいのですが、それぞれの力でお願いしたい。

質問

2年ほど前から岡本病院の移転問題が地域に起ってます。建設当初は近隣の反対もありましたが、今では地域に根付き大切な医療機関となっております。現在のクリニックも職員不足によって、診療科が縮小され午前診だけとなり、長年治療を受けている脊柱管狭窄などで長年診療を受けている方も、地域の医者に行け、というふうに割振りされているんです。そのようになっていずればクリニックもなくなるのではないかと不安を持っています。地域住民として、跡地は特養老人ホーム、低料金で入れる特養老人ホーム、デイサービス、グループホームの建設、高齢化に伴う老人の集いの場を要望。病院にも老人の集いの場所と要望し、最初は良い返事をいただいていたが、だんだん近づくに従い、5月1日が向こうで開院されますが、近づくに従って、それもダメになるということになっています。病院側は今の建物は3年ほど現状維持になります。建物は使ってこそ維持できるもので、閉鎖されてそのまま置かれていたら壊れていく一方なので、その施設を利用して、宇治市として特養ホーム、耐震補強してできるものなら、補強して跡地を使って特養ホームの建設をしていただけるように議会のほうで検討していただきたいと思います。今、地域の高齢者が行き場所もなくて困っておりますので宜しくお願いします。

質問

私は今日は予算のことを聞きに来たので、発言する気はなかったのですが、今災害のことが話題になりましたので、みなさんに聞いてほしいのです。みなさん天ヶ瀬ダムの上流に大戸川ダムが出来ているのはご存知でしょうか。そのダムは、私も見に行きましたが、半分くらい堤防があります。その湖底に沈む村はお墓まで移転してます。そういう状態で今は凍結されてるんですかね。私はマスコミの情報しか知らないんですが、第2のダムを作ると言うことは、片岡先生もおっしゃいましたが堤防の補強と同じくもっと大事だと思います。天災はいつ起こるか分かりません。これを復活していただけるように宇治市がリーダーとしてやってください。

質問

共産党の資料を見て、水道料金14%値上げ。間違いじゃないかなと思うんですけど、低所得者向けは35%値上げ。低所得者の値上げをして、それはどういうところへんに誰が賛成してこういうことをしたのか。もしこういうことなら選挙の時に低所得者用には僕たちが選挙で通ったら水道料金35%値上げすると言ってくれたら選挙の時入れなかったのに、残念で悔しいです。

間違えてないですよ。低所得者向けと書いてあるから。これをお聞きしたい。何で低所得は値上げになるのか。小学校の子どもかて、小さい弱い者をいじめたらあかんいうのに。これは許されへんと思います。

司会

みなさんのご意見聞かせていただきました。ありがとうございます。それでは今のご意見・要望を聞かせていただいた上で、最後に各会派からそのことに応えていただいて時間という形で取らせていただきたいと思います。

最後の2分のところで何とかまとめていただけたらと思います。今、様々な意見、市民と議会のつどいのことについて、また議論してしっかりと検討したいと思いますので宜しくお願いします。それでは日本共産党宇治市会議員団さん、宜しくお願いします。

6. 各会派・無会派議員総括（各2分）

共産党議員団 水谷 修 議員

宇治公民館は存続して建て替えすべきと考えています。

宇治川の堤防は、現に右岸等でひび割れもあり、左岸では過去はタイピング等で崩れておりますので、そういったことでは下を水が通っておりますので安全ではありません。堤防の強化が必要だと考えています。

つどい等、議員のありかたについて、たくさん意見を聞きました。議員は市民の声を市政に生かして実現することと、市民の立場で市政をチェックすることが仕事だと思いますので、その職務を十分果たせるようにさらに議会改革を進めていきたいと思ひますし、この間も政務活動費の問題点があり昨年基本条例を改正しました。そして今議会では政治倫理条例を作ることができました。今後も政務活動費の使い方についてはさらに厳しいチェックが出来るように、あるいはオープンにできるように今後ともしていきたいと思ひます。

イオン問題が言われましたが、宇治の多くの地域で店舗が無くなり歩いて暮らせない状況がすでにあります。そこに加えて大久保イオンの撤退で大久保地域は大変な状況に直面してます。歩いて暮らせる街にするには、町中に商店・お店ができることが必要ですので、そういった支援も含めて必要なところに店舗を作っていくような計画作りも含めた、歩いて暮らせるまちづくりを推進していきたいと思ひます。

二元代表制は、議員も首長もどちらも直接選挙で選ばれて、市長は予算を提案し執行する仕事をします。議会は審議して決定・議決をする、そういう仕事をします。ですから市長には予算を決める権限はありません。議員には予算を提案する権限はありません。決定は議会がするもの。そのチェックアンドバランスといひますが、力関係で市民のお声が十分反映できるような二元代表制を生かした仕組みづくりがさらに必要かと私は考えております。

それから さんの家の上のほうが現在も崩れています。大谷川の上流がさらに今崩れている問題は、こないだ私も議会で明らかにしましたけれど、中小河川の管理が災害後も十分に出来て

いるかと言えばそういう問題もありますし、十分、こないだの雨程度でも溢れる状態であるのは間違いありませんので、中小河川のさらなる改修に取り組んでまいりたいと思います。

第二岡本病院の撤退ですが、すでに宇治は医療過疎が進行しております。宇治は医療機関が多かったと昔は言われてましたが、京都府内でも医療機関・医師の数が少ない。現行でも少ない地域です。第2岡本ががんの拠点病院になってますが、そこが移転することでそういった課題になります。また地域の施設について、跡地の活用のお声が出ておりますが地域の問題として皆さんと取り組みたいと思います。

それから宇治川については天ヶ瀬ダムの再開発などそういったことをやめて、堤防強化をすべきだと思います。

水道料金のことは、私が書いたものに間違いはありません。

司会

ありがとうございます。民主党市会議員団さん、お願いします。

民主党議員団 松峯 茂 議員

多くのご意見ご要望、またご質問ありがとうございました。2分間ですので手際よくお答えさせていただきたいと思います。先輩から大変厳しいお言葉をいただいてまいりました宇治公民館ですが、太閤堤と総合的な複合施設として機能移転をするということが、山本市長の公約でもありました。4年前にそういう公約をたてられて、それで選挙に通られたということもごさいます。地元で建て替えてほしいという要望は市民の方々からご意見を頂いているところでありますし、これから修正案が可決されたのでどのような形づくりになるかは白紙ですが、私としては合築がまずは国庫補助を受けて建て替えられるところの大きな施策だと思っておりまして、現地で建て替えるとなると国庫補助が受けられない中で単費でどれくらいのものが建てていけるのか。またJRの複線化によりまして、その建物がどういうことになってくるのか、あわせて当局とのもしっかりと議論していかないといけないと思っております。

あとイオンの買い物難民の関係につきましては、地元でお世話になっている議員からもお聞かせいただいております。そういう問題は各政党会派それぞれが動くのではなく、宇治市の皆様の困りごと、超党派でできることは、一緒に手を携えて要望が通るように頑張っていきたいと思っております。

それと二元代表制の議会制民主主義の関係で、制度的な関係は水谷先生がお答えいただきましたけれど、私どもも、(チン《時間制限ベルの音》)まあ宜しく申し上げます。ありがとうございます。

司会

自民党宇治市会議員団さん、宜しくお願いします。

自民党議員団 堀 明人 議員

失礼します。本日はありがとうございました。貴重なご意見たくさん頂戴しました。まず少子高

齡化、人口減少という今日的な日本全国の課題を見据える中で、私ども宇治市におきましては皆様から頂きましたように太閤堤・公民館・防災対策など個別の課題を頂戴したところでございます。本来ならすべての課題についてやって差し上げたい、市に対して要望して差し上げたいところではございますけれども、しかしこれは限られた財源の中で、いかに選択をして集中していくか。どう優先順位をつけていくか。そのことが私ども責任政党に課せられた義務でございます。耳障りの良いことを皆さんに申しあげることが簡単でございますけれども、ご承知のように私ども政権政党自民党の地方議員として、しっかりと限られた財源の中で持続可能な範囲の中で出来ることをお約束を申しあげていきたいと考えております。私ども6人の議員がおりますけれども、それぞれが市民の皆様からいただいたご要望を、地域の中で一つずつ具体的に解決をさせていただく中で、この議員に投票してよかったと実感していただけるような、議会活動をそれぞれの議員が自民党という一つの旗印のもとで頑張ってまいりたいと思っておりますので、どうか皆様方には今後ともご指導いただきたいと思っておりますし、今日の皆様からいただきましたご要望、ご意見についてはしっかりと議会・会派の中で検討して、来年度の予算要望の中でも挙げていきたいと考えております。どうもありがとうございました。

司会

続きまして、公明党宇治市会議員団さん、宜しくお願いします。

公明党議員団 鳥居 進 議員

本日は大変貴重なご意見ありがとうございました。数多くの要望ならびに質問をいただきまして、私どもまだまだ未熟な議員もたくさんいる中で、しっかりと勉強させていただいて、皆様のご意見を一つでも解決できるようにさせていただきたいと考えております。先ほど数多くある中で例えば二元代表制。言われているように、構成のことは先ほど水谷先生が言われたような構成であります。しかしながら私どもチェックしていく機能でありますので、今回太閤堤に関しましても、これはちょっとどうかなということで否決に回らせていただきました。私ども公明党会派として、どのようにその予算を使っていけばいいのか。ということで1つ提案させてもらってます。それは住んでよかったなと言ってもらえるような施策に繋げていくべきだ、ということで、これは一般質問でもさせていただいております。例えば人口流出の問題。先ほどから出てましたが、府のほうでも人口流出は課題となっている。先ほど水谷先生からも人口流出について説明していただきましたが、ここの宇治市がこれから発展的に、永続的に破綻しないようにどのように進んでいくか。懸案となる人口流出問題が大事だということに関して、いよいよ本当に住んでよかったな。先ほどの福祉施策もそうですし、教育施策もそうですし、太閤堤の予算があればそちらの方にまわすべきではないかということをお考えまして、私どもも否決の方をさせていただきました。先ほども言われましたが、口ばかりではなく、実際にどのように行動していくか。二元代表制のもとで市長にどう詰め寄っていくのかという厳しいご意見もいただきました。わたしどもしっかりとやっていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

司会

京都維新・宇治さん、宜しくお願い致します

維新 片岡 英治 議員

議会の解散の話が出ましたが、これは私が知る限りでは、市長が不信任案を出された場合に市長が議会を解散できると思います。

それから公民館のことですが、年間訪問客の約26万人のなかの公民館が移転して、ずっと利用している人は4万人、外部から来る人は4万人、8万人で交流ということですが非常に曖昧です。ならば公民館を使う人たちに、いくら料金を取るのかということは全然決まっておりません。決まっていないままで議決を強いられるというこういう不自然なこともあったから修正案には賛成。実際は否決をしたわけであります。皆様からいろいろご意見がありました。議会事務局に電話されると議員の個人の番号は教えてもらえるので、どんどん厳しい意見を賜りたいと思います。

司会

それでは最後に浅井議員、宜しくお願い致します。

無会派 浅井議員

多くの方々から貴重な意見ありがとうございます。一つ一つ、しっかりと受け止めながらこれからの議会活動に反映させていきます。すべての項目については時間的にお答えできない訳ですが、宇治公民館については機能移転という形で一つの案がありました。私も宇治公民館という生涯学習としての機能がしっかりと継承されて、従来の利用されている方々がこれまでと同じように不便なく利用できるのであれば、機能移転やむなしという立場で賛成をいたしました。今後どうなるかとなりますが、これはどういう形が可能なのかよくわかりません。その辺はどういう形で当局が意見を持ってくるか。それを見ていきながらしっかりと議論していきたいと思いますが、いずれにしてもこれまでの利用者の方々がかこれまでと同じように公民館活動、社会教育活動ができるように、このことが大前提という立場でこれからもこの問題については考えていきたいと思っています。

第2岡本病院の移転に関する跡地の問題も含めてご意見ありましたが、議会としてまとまった一つの意見を出して、岡本病院に提案していくことが一番いいのではないかと思います。宇治川堤防の問題もありましたし、いろんな課題がありますが、特に議会の力と言いますか、二元代表制と言われて久しいですが、市民の声を受け止めて、議会が当局と対等の関係でやりあえるように、これからも頑張って取り組んでいきたいと思っています。

司会

ありがとうございました。

7. 閉会挨拶

坂本優子 副議長

第4回市民と議会のつどいの閉会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、お忙しいなか、市民と議会のつどいにご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

地方自治体におきまして、私ども議会が意思決定を行う際には、市民の皆様の意見を十分にお聞きする必要がございます。

本日のつどいで皆様からいただいたご意見等を今後の議会活動の中に生かし、さらに開かれた議会をめざして、進んでいきたいと考えております。

皆様におかれましても、議会の傍聴やインターネット中継を通じて、今後も議会活動をチェックしていただいて、忌憚のないご意見を頂戴できればと存じます。

本日は、誠にありがとうございました。